

講義名	原価計算論B		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	早川 翔		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 4時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

利益は、利益＝収益－原価の式で表せます。この式から、少ない原価で多くの収益を獲得することが、利益増大につながると言えます。したがって、企業にとって原価をいかに引き下げるかは重要であり、そのためには自社の原価構造を知る手段としての原価計算が必要になります。本講義では、日商簿記検定2級における工業簿記（原価計算）の範囲、特に総合原価計算に関する内容を学習します。

到達目標

総合原価計算に関する基礎的な理論とCVP分析について理解する。また、日商簿記検定2級における工業簿記の基礎学力を身につけることができます。

提出課題

本講義は課題学修型の授業です。したがって、毎回の授業で課題を課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

次の授業にて課題のフィードバックを行います。正答率が低い課題に対しては、詳細な解説資料を作成します。

評価の基準

毎回の課題の合計点で評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

・原価計算の内容は積み重ねが重要な学問なので、休むと次回以降の内容がわからなくなるります。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

プリント資料
毎回の講義で配布します。

授業計画

- 第1回 原価計算とは何か
- 第2回 単純総合原価計算1 月末仕掛品原価の計算
- 第3回 単純総合原価計算2 平均法
- 第4回 単純総合原価計算3 先入先出法
- 第5回 減損および仕損
- 第6回 工程別総合原価計算
- 第7回 組別総合原価計算
- 第8回 等級別総合原価計算
- 第9回 前半のまとめ
- 第10回 標準原価計算1 原価差異の計算
- 第11回 標準原価計算2 直接材料費差異、直接労務費差異の分析
- 第12回 標準原価計算3 製造間接費の分析
- 第13回 CVP分析
- 第14回 後半のまとめ
- 第15回 全体のまとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

- ア：PBL（課題解決型学習）
- イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
- ウ：ディスカッション、ディベート
- エ：グループワーク
- オ：プレゼンテーション
- カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次の授業までに、授業で扱った問題について独力で定みなく解けるまで復習する必要がある（4時間程度）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考